



## こども園は臨休にならない!

1月25日(木) 荒天のため、管内の多くの小中学校が前日から早々と臨休措置を決めました。それを可能にしているのが一人一台のタブレットです。

網走の孫から「休みになったけど、リモートで朝の会があって、宿題がいっぱい送ってきた。」とLINEが来ました。

こども園は、LINEでは保育ができません。よっぽどのことがない限り臨休にはなりません。ただし、こうした場合の登園するかしないかは、保護者の判断になります。



ICTの活用は、こども園でも有効です。保護者の皆さんへの連絡や欠席の把握がコドモンで簡単便利になりました。副園長先生は「吹雪の時は、朝から電話が鳴りっぱなしで、その対応に追われて大変でした。それが今は、皆さんコドモンで知らせてくれるので大助かりです。」と言っています。



## 「子どもに望むこと」

能登半島地震で輪島市の教育委員会は、中学生の集団避難を決断しました。学力テスト全国1位の石川県ならではの事だと思えます。

どんな親も子どもには、健康と長寿・性格のよさ・豊かな人間関係・物質的な充足・充実した仕事に就くことを望んでいます。親は、子どもの衣食住について恵まれることを願っています。例えば、十分な食べ物、きれいな飲み水、清潔な衣類、安全な寝場所、暑さと寒さを凌ぐ冷暖房などです。加えて、子どもが人間関係について恵まれることも願っています。いろいろな話ができる友だち、いっしょに働いて目標を達成できる同僚、人生について教えてくれる師。また、子どもが立派に仕事をして充実感が得られることも願っています。そして、子どもが立派な人格を形成することを何よりも願っています。正直さ、貞節、忍耐力、親切心、心の平和、喜び、愛情、郷土愛、ボランティア精神などです。

ところが、面と向かってこんな話を子どもにする親は少ないでしょう。しかし、こんな人物になって欲しいという思いを具体的に伝えるべきです。緊急事態でも冷静さを保つこと、他の人の不幸に同情すること、不正に対して怒りを感じることを、困っている人を助けること、などです。

折に触れて子どもと希望を分かち合うことです。子どもは親が自分の将来のことを思ってくれていることに感謝し、自分の将来について真剣に考えるようになります。しかし、過度な期待はしないことです。

## 保護者アンケートから「写真販売、行事名や日時の印字について」

～・～後期保護者アンケートの協力ありがとうございました。～・～

写真販売について、何人かの方から、「行事名とか入らないのですか?」と聞かれていたので、業者に問い合わせたところ、「入れるとなると今の値段では…」と言われました。

アンケートの結果は、「10円くらい値上げしても入れてほしい。」が47%で、「そのままでもいい」が50%で半々の結果となりました。皆さんの意見は、「値段はそのまま入れて欲しい」ということだと思えますので、さらに業者をお願いをしていきます。

写真販売は、それまで先生方が掲示したり、集金作業をしたりしていたので、働き方改革の一環として、業者をお願いしてネット販売になりました。今後ともご協力いただきますようお願いいたします。



## ///コドモン配信について///

「毎日、子どもの活動の様子を楽しみに見っていますが、写真の数は増えないのですか?」という意見がありました。

コドモンは、保育施設で働くスタッフの業務効率を上げる目的でつくられています。写真を複数上げることは技術的には簡単なことですが、そうすると保育中に先生方が写真や動画を撮ることになり、保育に専念できなくなることから、あえて1枚しか上げられないようにしています。また、「保育中にスマホを操作している先生がいる。」という指摘もありました。当然、勤務中に私的な用事には使わないように指導していますが、子どもの様子を写真に撮ったり、園内連絡もスマホで確認したりするようになっていますので、勤務中でもスマホを見ることがあります。どうかご理解ください。

